

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

幼少時代の魚が戻る「菊川の水辺」せせらぎ再生計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

菊川市

### 3 地域再生計画の区域

菊川市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市は、静岡県の中西部に位置し、東側に日本一の大茶園牧之原台地を擁し、南側に市を縦断する一級河川菊川が流れ込む遠州灘を望み、温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれた自然景観と都市機能が共存する地域が形成されています。

本市は、東西方向は約9km、南北方向は約17kmで、面積は94.24km<sup>2</sup>であり、地目別面積は、農用地36.15km<sup>2</sup>、山林・原野21.10km<sup>2</sup>、宅地9.91km<sup>2</sup>、その他27.08km<sup>2</sup>です。平成19年3月末現在の人口は49,659人、世帯数は15,707世帯という状況です。

市内には、JR東海道本線菊川駅、東名高速道路菊川インターチェンジを有し、また近隣にはJR東海道新幹線掛川駅、御前崎港、さらに平成21年3月に富士山静岡空港が開港するなど、交通インフラに恵まれた将来性豊かな地域です。今日までも、その恵まれた立地条件を生かし、積極的に企業誘致を展開していくとともに、併せて定住人口増加のために各種住宅施策を実施しており、土地区画整理事業においては、都市計画区域内の市街化に対応し積極的な事業展開を進めるとともに、住宅団地建設等の住宅対策を含めた都市基盤整備を推進してきました。一方で、お茶や水稲に代表される農業を推進し、自然環境と都市機能のバランスのとれたまちづくりを進めています。

本市は、菊川の支流が市全体に広がっている「川が身近に存在する市」です。一方、河川の水質は平成18年の検査によると、BODの値が市内中心

部の高田橋付近では0.8 mg/l ときれいな水質ですが、市街地に近接した中流域の五丁目ひ管では11.0 mg/l、市営団地排水口付近では22.0 mg/l となっています。これは、本地区周辺部より生活雑排水が河川に流れ込んでいることによる影響で、現在も水質の改善が進んでいない状況を示しています。

こうしたことから、平成17年度から3カ年計画で汚水処理施設整備交付金の投入により、下水道整備や浄化槽の設置によって水質の改善に取り組んでいます。幼少時代に見かけた「オイカワ」や「鮒」などは未だ見かけられません。

今後さらに河川水質を改善する方法としては、市街地中心部はもとより市街地近郊の住宅地等から排出される生活雑排水の排出量の低減にも取り組んでいくとともに、インフラ整備事業や住宅造成事業、土地区画整理事業との連携による下水道整備や浄化槽の整備が最も効果的だと考えられます。

よって、菊川市の将来像である『みどり 次世代～人と緑・産業が未来を育むまち～』の一環として本事業の交付金を活用して汚水処理施設を整備することにより、積極的な自然環境・水質環境の向上を図り、併せて公共水域の水質保全、都市機能の整備をすることで、市名の由来、シンボルともなっている河川菊川や、緑豊かな自然環境・水環境を次の世代に継承し、かつての潤いのある親しみの持てる水辺や環境の再生により、豊かな感性に恵まれた人づくりと自然を大切にしたい地域環境づくりに取り組み、地域の活性化につなげていくものとします。

(目標1) 汚水処理施設の整備・促進

汚水処理人口普及率を現状44.3%に対し56.4%に向上させる。

(目標2) 市営団地付近のBODの向上

市営団地排水口付近のBODを現状22.0 mg/lに対し15.0 mg/lに向上させる。

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

河川菊川は、昭和初期には近隣住民や学校の授業で生徒が水泳を行う程きれいな河川でしたが、近年家庭雑排水が河川に多く排出されるようになり水質の汚濁が進み、全国の水質汚濁が進んだ河川に含まれる程に水質の悪化が進んだため、この問題を解決するものとします。

現在、積極的に事業展開が進められているインフラ整備や住宅造成、

土地区画整理と併せ、汚水処理施設交付金制度を適用し公共下水・浄化槽の設置を行うことにより、河川に排出される家庭雑排水を効果的かつ計画的に減らし、水辺の改善を図りせせらぎの水辺を再生しかつて見られた魚たちを呼び戻します。

・下水道法に基づく認可日 平成10年12月24日

## 5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

### 汚水処理施設整備交付金

#### [事業主体]

菊川市

#### [施設の種類]

公共下水道、合併浄化槽

#### [事業区域]

公共下水道 菊川市公共下水道認可区域内の一部

合併浄化槽 公共下水道整備区域外の市全域

#### [事業期間]

公共下水道 平成20年度～平成22年度

合併浄化槽 平成20年度～平成22年度

#### [整備量]

公共下水道  $\phi 150 \sim \phi 350$  13,800m  
(うち単独事業費1,800m)

合併浄化槽 5～10人槽 480基

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおりです。

公共下水道 2,400人

浄化槽 1,600人

#### [事業費]

公共下水道 1,213,000千円  
(うち、単費113,000千円)

	(うち、国費 550,000 千円)
浄化槽 (個人設置型)	154,008 千円
	(うち、国費 51,336 千円)
合計	1,367,008 千円
	(うち、単費 113,000 千円)
	(うち、国費 601,336 千円)

### 5-3 その他の事業

#### 【ハード事業】

- ・インフラ整備事業 街路事業や主要道路拡幅事業、河川改修事業進捗に合わせて下水道施設を整備します。
- ・住宅造成事業 新規住宅団地または既住宅団地の新築に合わせ合併浄化槽の設置を推進します。
- ・土地区画整理事業 区画整理事業の進捗に合わせて下水道施設を整備します。

#### 【ソフト事業】

- ・環境美化活動事業 地域の環境美化の推進及び自然環境保全に対する住民意識の高揚を図るため、自治会等と協力し、市内一斉清掃や河川愛護事業等を実施します。

上記の事業を汚水処理施設交付金と併せて行うことで、効率的かつ計画的に生活汚水の排出が少なくなるため、水質の向上が図られます。

## 6 計画期間

平成20年度～平成22年度

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし菊川市において調査、評価し、必要に応じて事業の内容の見直しを図ります。

## 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項 該当なし